

平成27年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	都井岬ビジターセンター
所在地	串間市大字大納42番地1
指定管理者	名称 一般社団法人 串間市観光協会 会長 中村 貢治 住所 串間市大字西方5497番地1
モニタリングの実施方針・方法等	モニター会議及び串間市指定管理者制度運用指針のチェックシートに基づき実施する
担当課 (問い合わせ先)	商工観光スポーツランド推進課

■モニタリングの総合コメント

施設利用者数は9,256人と前年並みで（平成26年度：9,278人）、引き続き高い利用者数が維持されていた（近年5年間の平均利用者数7,504人）。各種メディアの取材や番組出演等は68件あり、工作教室や星空観察会など自主事業の開催は16件あった。情報発信に加え、自主事業の積極的な開催の効果があつたと評価できる。

野生馬ガイドは利用者のニーズが高く人気だが、職員の離職によってガイドの利用者数が大きく減少したため（平成27年度：1,401人、平成26年度：2,627人）、今後はガイドの受入体制の強化を図って頂きたい。

ガイドが素晴らしいので、もっと効果的にPRすれば、もっと効果が上がるのではないかと。また、施設設備や展示品の老朽化が著しいため、再整備を検討する必要があると考える。

■今後の業務改善に向けた考え方

野外や館内のガイドツアーの他、環境教育など学校関係の利用も増えている。さらなる利用者増を目指して、都井岬内の遊歩道を活用したウォーキング等、ヘルスツーリズムを商品化できないか。また、都井岬は自然派の観光客が訪れるので、犬などペットと同伴の観光客向けに、ドッグランの施設を整備してはどうか。ターゲットを絞って、コアな層に営業をかけた方が良い。

ガイドは好調であるが、人員配置が足りないため、職員の育成にもっと力を入れるべきである。施設は老朽化については、今年秋頃を目処に、一部の展示物については展示の改修と多言語化を行う予定とのことだが、新たな体験メニューが開発された際や、展示がリニューアルされた際は、情報を頂ければ宮崎県が全国向けの観光プロモーション等で効果的に発信することも可能なため、もっと情報を外に出して頂きたい。

近隣の『フェリーさんふらわあ』では、利用者に観光地のクーポン券を配布するキャンペーンを行っており、利用料の割引やプレゼントで協賛を頂ける提携店舗を探している。串間市内では、まだ提供店舗が無いので、こうした近隣の旅行会社ともしっかり連携しながら集客を図ってはどうか。

以上の意見が、モニター委員から提案された。

■基本的な考え方（施設の性格・目的との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

合目的性・公平性・効果性

施設の設定目的を良く理解し、その目的に沿った施設利用が行われている。多くの自主事業を開催しており（計16回：参加者344名）、野生馬ガイドには1,401人の参加者があって、観光振興に寄与する効果があった。

■業務内容

機能性・独創性（事業への具体的な取り組み方）

館内の展示解説を始め、野生馬ガイドツアーや工作体験、星空観察会等、季節や天候を問わず、都井岬全体の環境を活用した活動が行われていた。

責任性・実効性（施設の運営体制や組織）

常勤3名による勤務体制で、協定書に基づく管理運営が行われていた。

明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

毎月の利用状況報告、決算報告、自主事業報告については迅速かつ適正に報告されており、利用料金の徴収、振込み等の経理事務も適正に行われていた。

安全性（安全管理、緊急時等の対応）

事故、事件等は特に発生しなかった。また、年一回の避難訓練が実施されていた。

社会性（環境等への配慮）

施設内の照明（展示物やフロア、トイレ等）は、利用状況にあわせてこまめに消灯をする、印刷用紙、トイレットペーパー、ティッシュペーパーは再生紙を利用した製品を購入する等、省エネに努めて環境に配慮した取り組みが行われていた。

■事業収支

経済性

維持管理の業務委託を含め、ハード・ソフト両面において、指定管理料金の範囲内で、適正かつ効率的な運営がされていた。

■団体の経営状態

経営の健全性

現指定管理者は、平成26年4月1日より一般社団法人となったが、経営面における借入や損失はなく、運営業務に関しては指定管理料金の範囲内で計画的な執行がなされていた。